

沖縄地方の天候

2022年2月と冬（2021年12月～2022年2月）

令和4年3月1日 沖縄気象台

【 2月 】

天候経過（月のまとめ）	1
天候経過（旬別）	2
大気の流れ	3
日々の天気図（午前9時）・気象概況	4
地上気象 気象経過図	
那覇・名護・久米島・南大東（南大東島）	6
宮古島・石垣島・西表島・与那国島	7
アメダス（月平均気温・月降水量・月間日照時間）	
分布図	8
極値・順位値更新表（月）、生物季節観測表	9

【 冬 】

冬の天候	10
冬の大気の流れ	11
沖縄地方の冬（12月～2月）の 平均気温と降水量の経年変化	12

※本報告は3月1日時点の資料で作成したものです

本件担当：沖縄気象台 地球環境・海洋課
お問い合わせ先：098-918-4012

天 候 経 過 (月のまとめ)

【2月】

沖縄地方は前線や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。

平均気温は全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を下回ったが、地域平均平年差は-0.3℃で平年並だった。降水量は全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り、地域平均平年比は187%でかなり多かった。月降水量は下地島で214.5mm、鏡原で215.5mmを観測し、月降水量の多い方からの2月としての極値を更新した。日照時間は全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を下回り、地域平均平年比は51%でかなり少なかった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	17.2	-0.3	0	186.5	163	+	64.7	69	-
名 護	16.6	-0.2	0	171.5	156	+	71.1	78	-
久米島	17.2	-0.1	0	248.5	176	+	44.9	56	-
南大東島	17.5	-0.6	-	102.0	128	+	107.0	89	-
宮古島	18.4	-0.2	0	224.0	187	++	45.9	51	--
石垣島	19.0	-0.4	0	258.5	208	++	43.0	47	--
西表島	18.8	-0.2	0	268.0	183	++	28.5	34	--
与那国島	18.5	-0.5	-	386.0	236	++	14.3	24	--
沖縄地方		-0.3	0		187	++		51	--

(注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++:かなり高い(かなり多い)、+:高い(多い)、0:平年並、
-:低い(少ない)、--:かなり低い(かなり少ない)

2. 「降水量」欄の — は無降水を示す。

3. 沖縄地方の地域平均平年差(比)とは、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の7地点の平年差(比)の平均値を示す。

4. “)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

5. “)”付きの値は資料不足値(統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている)を意味し、階級についても値と同様の品質である。

6. “X”は欠測を意味する。

7. 表中のデータは気象官署及び特別地域気象観測所における値である。

8. 平年値の統計期間は1991～2020年である。

天 候 経 過 (旬別)

【2月上旬】

沖縄地方は気圧の谷や前線、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で曇りや雨の日が多く、3日は沖縄本島地方で大雨となった所があった。

沖縄地方の平均気温は高く、降水量は多く、日照時間は少なかった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	17.5	+0.6	+	69.5	193	+	22.7	81	0
名 護	16.8	+0.7	+	59.0	187	+	26.9	98	0
久米島	17.3	+0.7	+	76.0	174	+	16.5	68	0
南大東島	17.9	+0.3	0	5.5	18	-	47.2	118	+
宮古島	18.4	+0.5	0	33.5	95	0	10.7	37	-
石垣島	18.9	+0.3	0	72.0	164	+	15.5	53	-
西表島	18.8	+0.5	0	54.5	113	0	9.6	37	-
与那国島	18.7	+0.4	0	46.5	88	0	6.8	37	-
沖縄地方		+0.5	+		145	+		59	-

【2月中旬】

沖縄地方は前線や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。14日は旧東で日最大瞬間風速31.4m/s(西)を観測し、2月としての極値を更新した。

沖縄地方の平均気温は平年並で、降水量はかなり多く、日照時間は少なかった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	17.3	-0.3	0	65.0	138	+	18.7	56	-
名 護	16.8	-0.1	0	59.0	117	+	18.9	56	-
久米島	17.3	-0.1	0	70.5	119	+	9.7	34	-
南大東島	17.6	-0.6	-	81.0	276	+	31.9	76	-
宮古島	18.3	-0.4	0	130.0	302	++	9.4	30	--
石垣島	19.0	-0.5	0	140.0	422	++	9.5	30	-
西表島	18.7	-0.5	-	165.0	360	++	2.9	10	--
与那国島	18.8	-0.3	0	260.5	494	++	4.4	21	--
沖縄地方		-0.3	0		279	++		34	-

【2月下旬】

沖縄地方は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多く、23日は沖縄本島地方と先島諸島で大雨や荒れた天気となった所があった。23日は下地島で日最大風速20.4m/s(北)、日最大瞬間風速26.2m/s(北)を観測するなど複数の地点でそれぞれ2月としての極値を更新した。

沖縄地方の平均気温は低く、降水量は多く、日照時間は平年並だった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	16.8	-1.4	-	52.0	166	+	23.3	74	0
名 護	16.1	-1.4	-	53.5	191	+	25.3	84	0
久米島	17.0	-1.2	-	102.0	266	++	18.7	68	0
南大東島	16.8	-1.9	-	15.5	80	0	27.9	72	-
宮古島	18.5	-0.8	0	60.5	146	+	25.8	86	0
石垣島	19.1	-1.0	0	46.5	99	0	18.0	59	-
西表島	18.8	-0.9	0	48.5	93	0	16.0	57	0
与那国島	18.1	-1.6	-	79.0	172	+	3.1	15	-
沖縄地方		-1.2	-		162	+		63	0

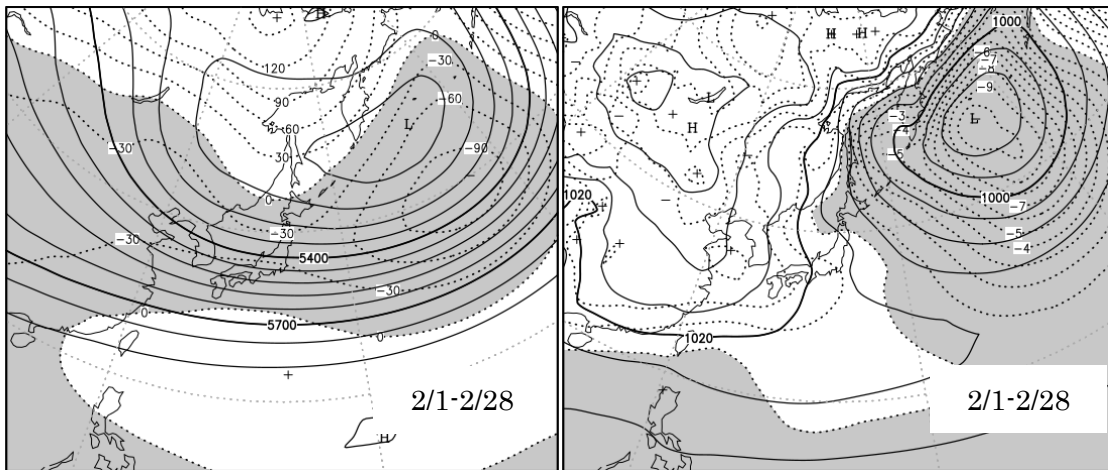
表の(注)は、前頁と同様

大気の流れ

2022年2月

500hPa面の平均高度（左図）は、中国大陸から日本付近で平年より低く、沖縄付近は平年との隔たりが小さかった。偏西風は華南で南に蛇行したため、沖縄地方は湿った空気の影響を受けやすかった。

平均海面気圧（右図）は、沖縄地方はシベリア高気圧の張り出しの縁に位置し、気圧の谷の影響を受けやすかった。

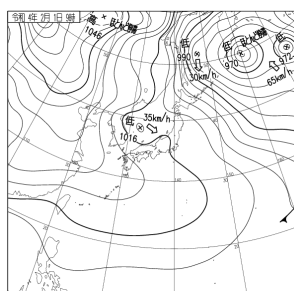


左図 日本付近の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

右図 日本付近の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

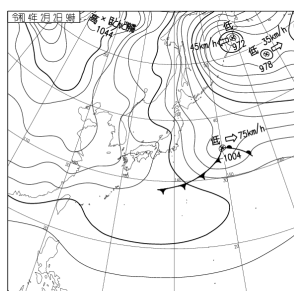
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2022年2月1日～2月16日



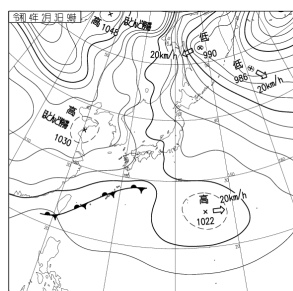
2022年2月1日

沖縄本島地方と先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



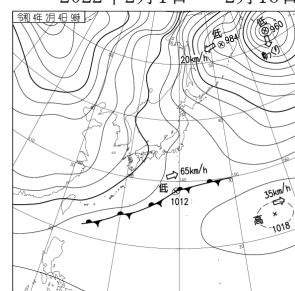
2月2日

沖縄本島地方と先島諸島は前線や気圧の谷の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



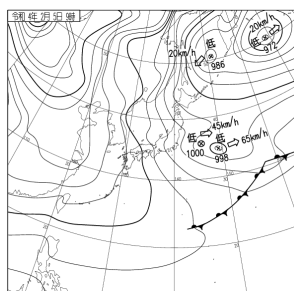
2月3日

前線や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



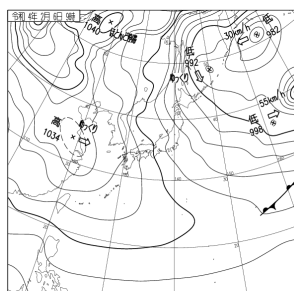
2月4日

大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



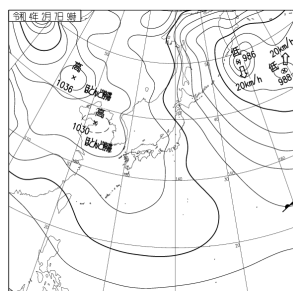
2月5日

大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



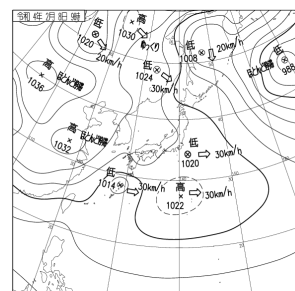
2月6日

大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



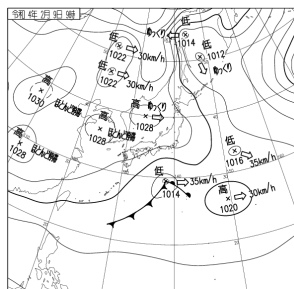
2月7日

低気圧や気圧の谷の影響を受ける。



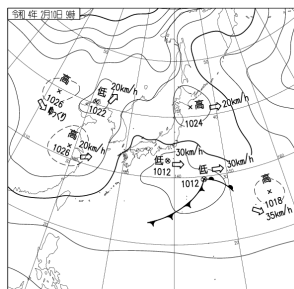
2月8日

低気圧や気圧の谷の影響を受ける。



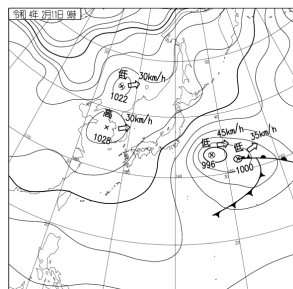
2月9日

気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。



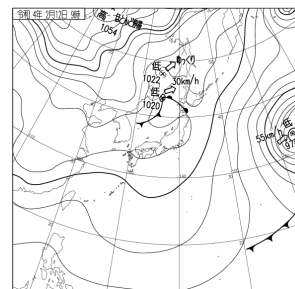
2月10日

気圧の谷や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



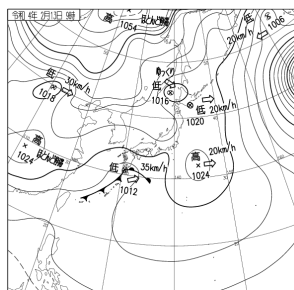
2月11日

沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。



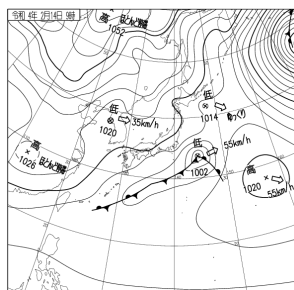
2月12日

沖縄本島地方と先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



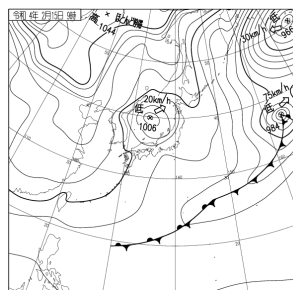
2月13日

低気圧や前線の影響を受ける。



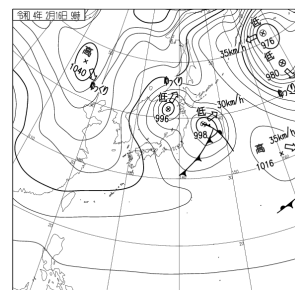
2月14日

前線や気圧の谷の影響を受ける。



2月15日

沖縄本島地方と大東島地方、宮古島地方は高気圧に覆われる。八重山地方は気圧の谷の影響を受ける。

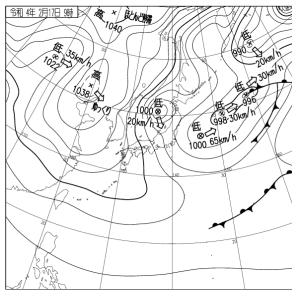


2月16日

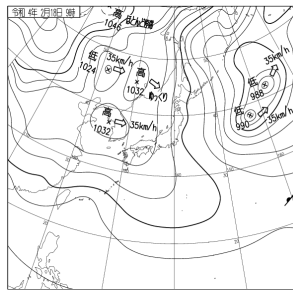
沖縄本島地方と先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

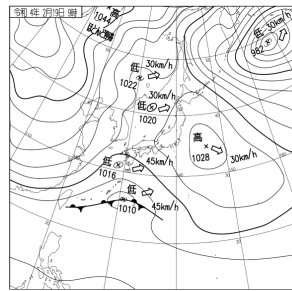
2022年2月17日～2月28日



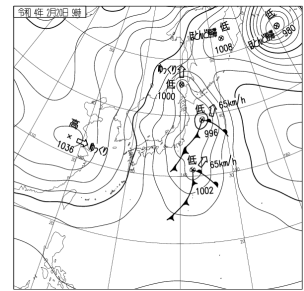
2月17日
気圧の谷の影響を受ける。



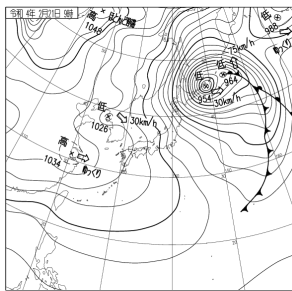
2月18日
気圧の谷の影響を受ける。



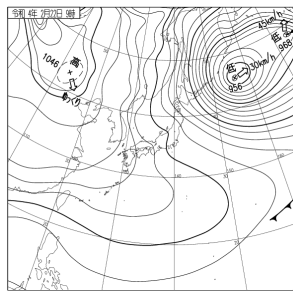
2月19日
低気圧や前線の影響を受ける。



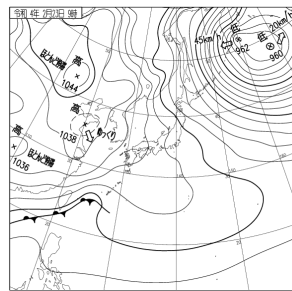
2月20日
大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



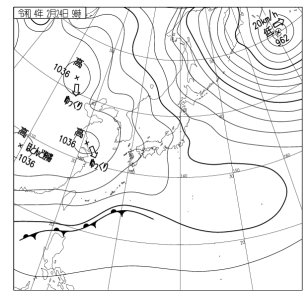
2月21日
大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



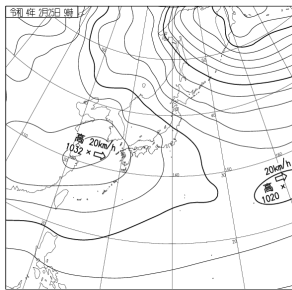
2月22日
沖縄本島地方と大東島地方は大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。



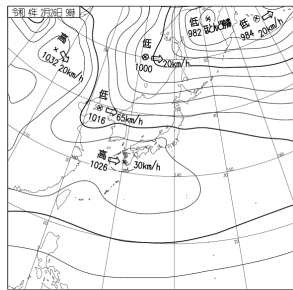
2月23日
前線や気圧の谷の影響を受ける。



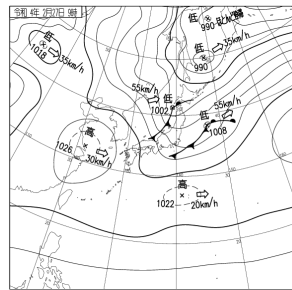
2月24日
大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける。



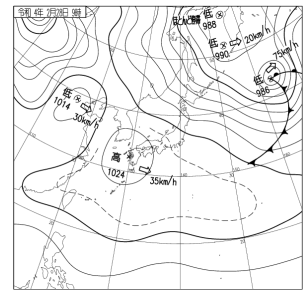
2月25日
高気圧に覆われる。



2月26日
沖縄本島地方と先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



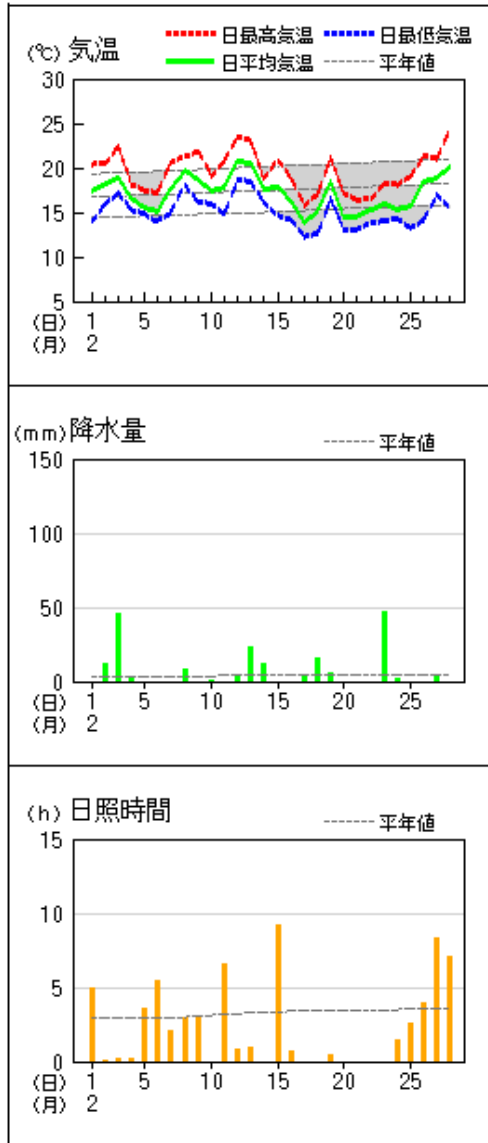
2月27日
沖縄本島地方は高気圧に覆われる。大東島地方と先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。



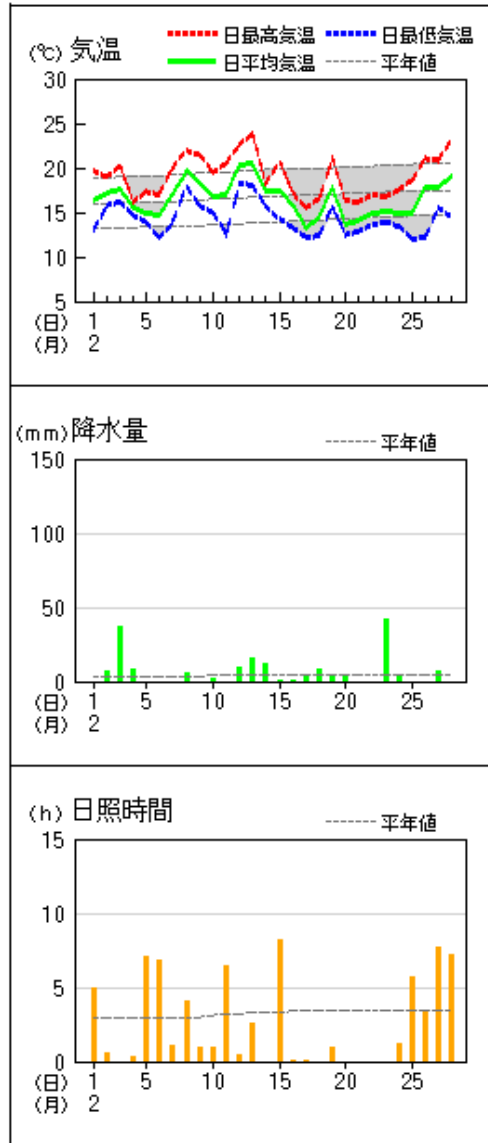
2月28日
高気圧に覆われる。

地上気象 気象経過図：2022年02月01日-2022年02月28日

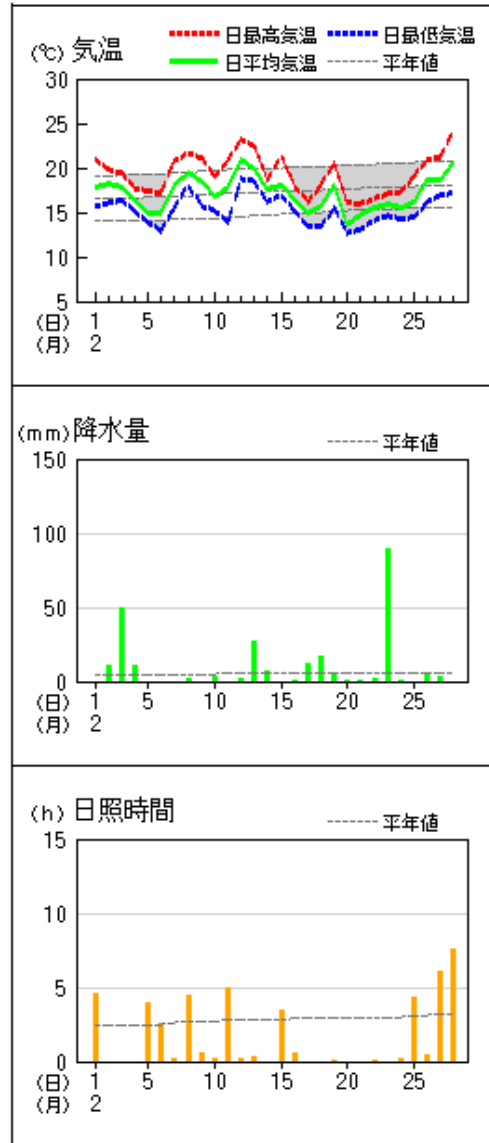
那覇



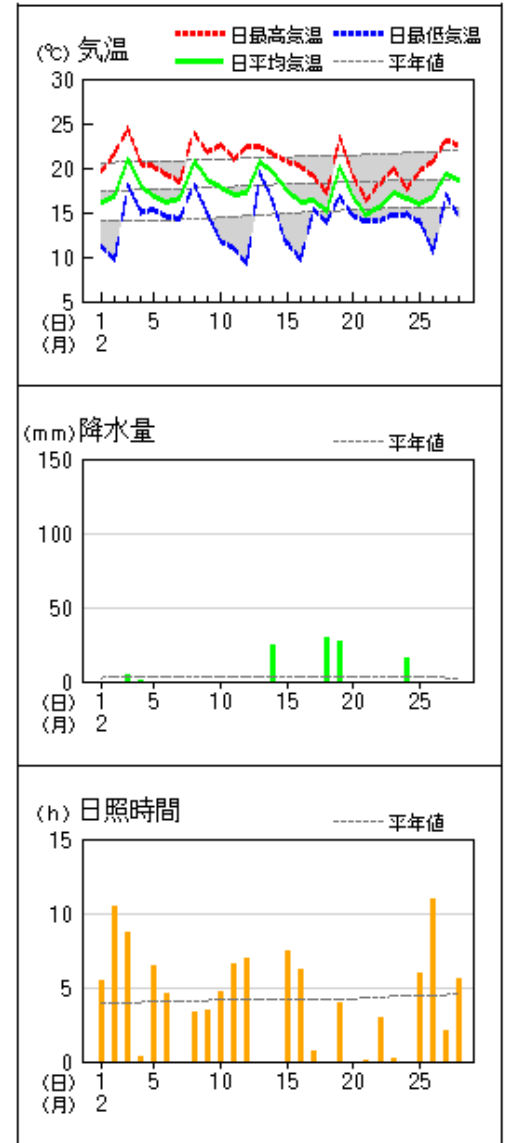
名護



久米島

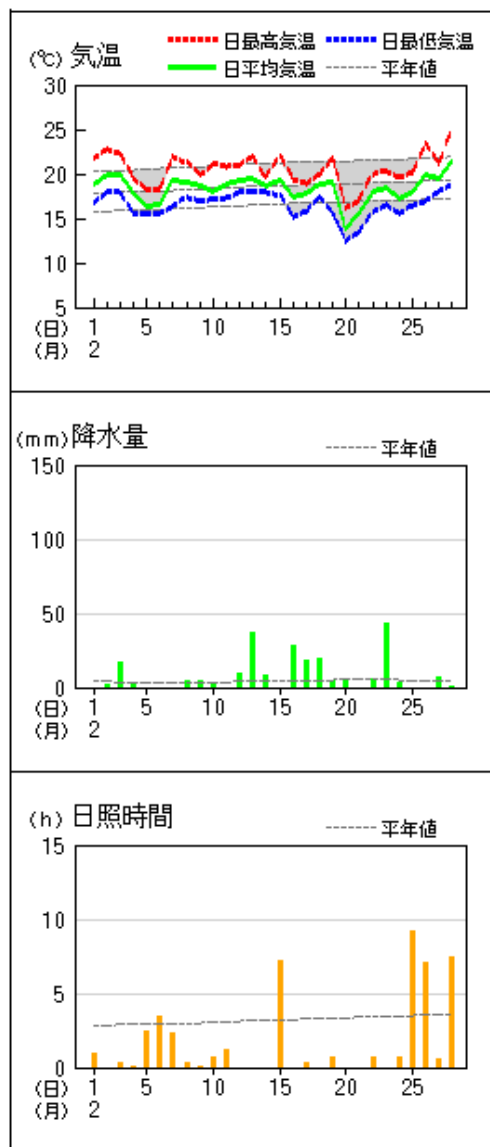


南大東（南大東島）

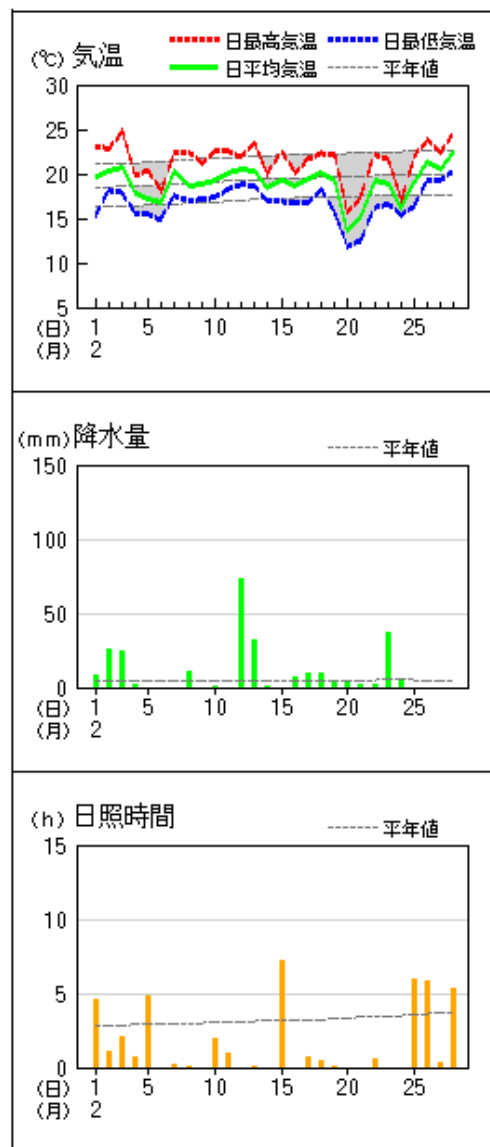


地上気象 気象経過図：2022年02月01日-2022年02月28日

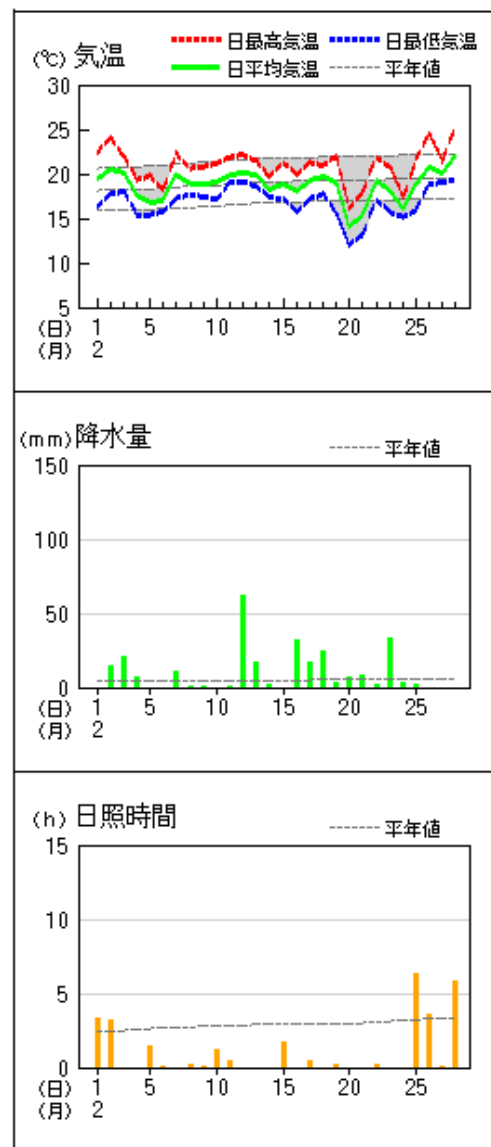
宮古島



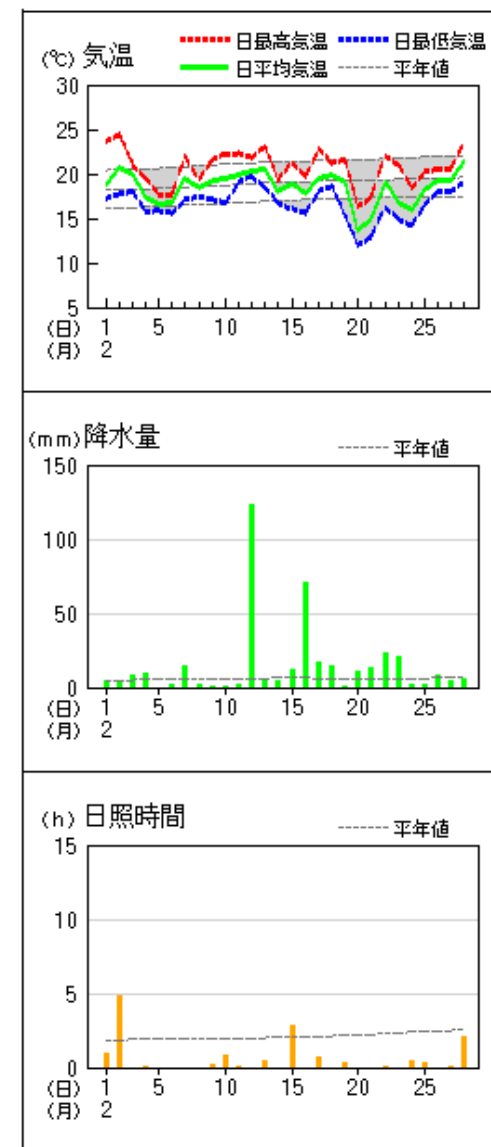
石垣島



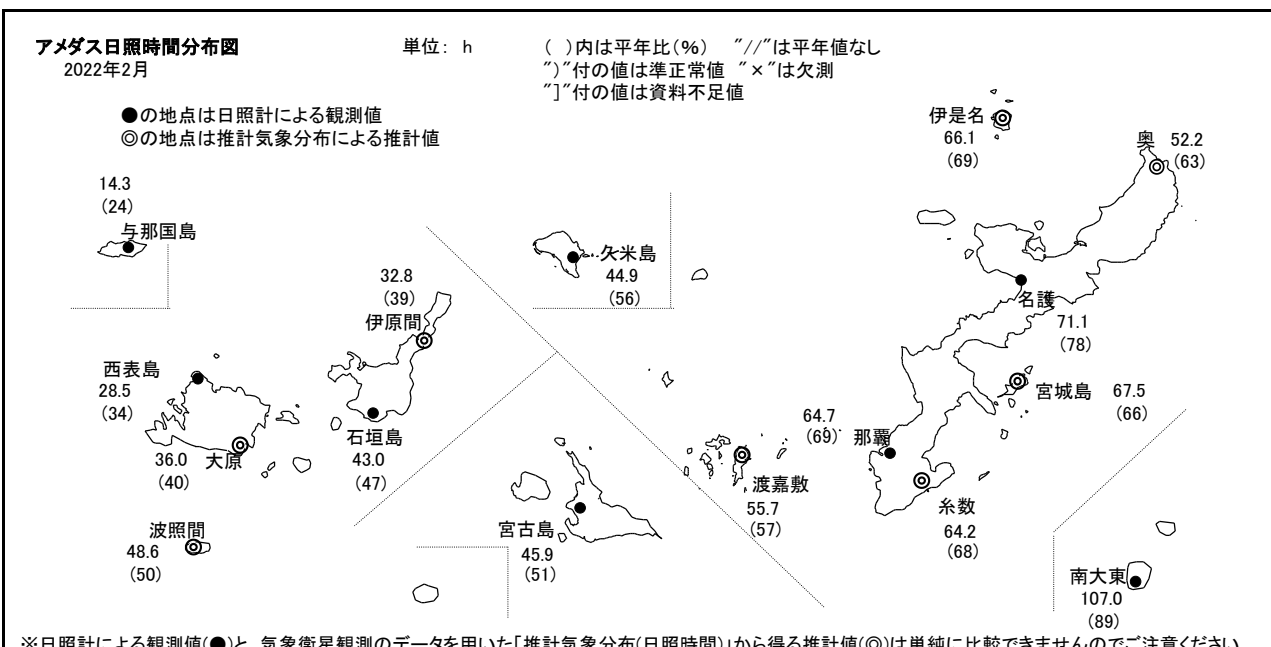
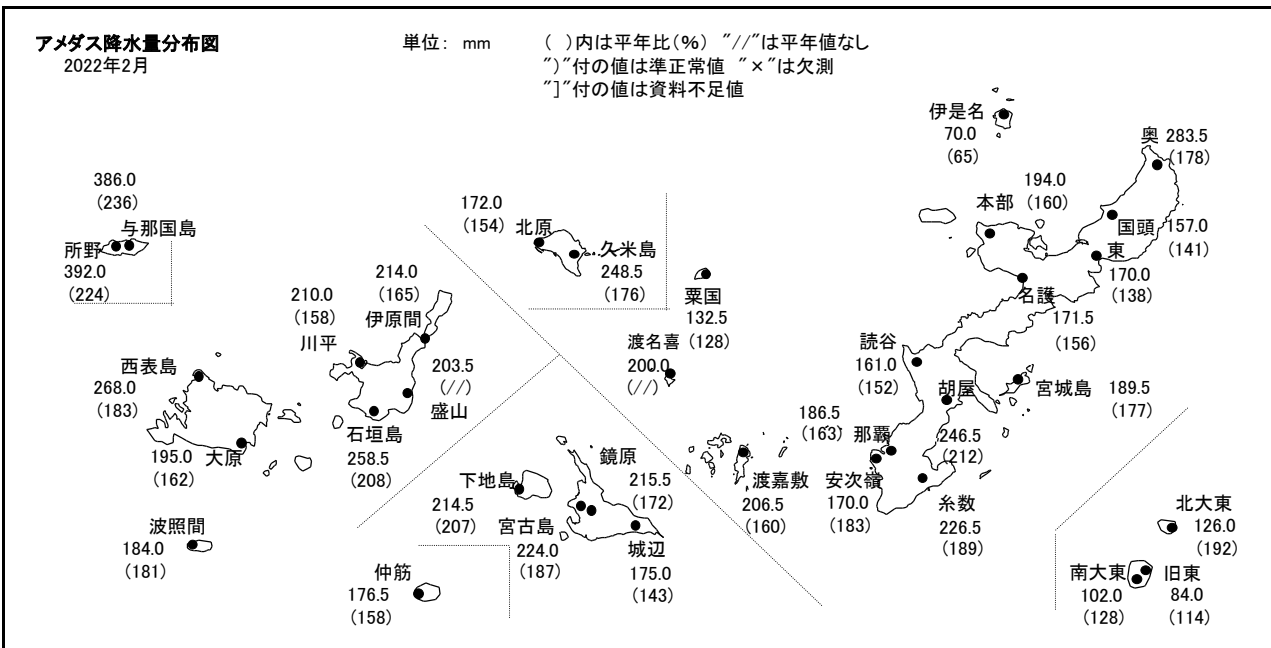
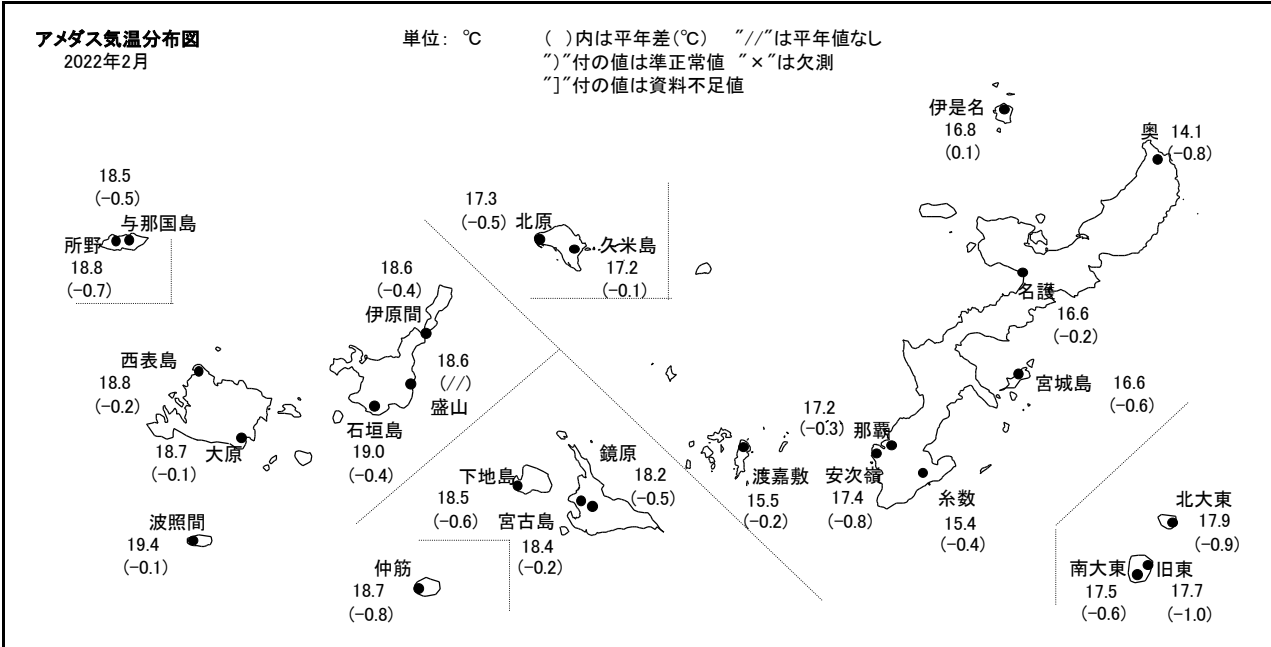
西表島



与那国島



アメダス(月平均気温・月降水量・月間日照時間)分布図



※日照計による観測値(●)と、気象衛星観測のデータを用いた「推計気象分布(日照時間)」から得る推計値(◎)は単純に比較できませんのでご注意ください。

・統計期間が短いため、平年値がない地点があります。

極値・順位値更新表（月）

地上気象観測所

2022年2月

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
西表島	月間日照時間の少ない方から（時間）	28.5	2022年2月	3	14.3	1968年2月
与那国島	月間日照時間の少ない方から（時間）	14.3	2022年2月	3	11.2	2008年2月
与那国島	月最大24時間降水量（mm）	125.0	2022年2月12日	2	255.0]	2016年2月12日

注1：日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載しています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

アメダス観測所

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
下地島	日最大風速・風向（m/s）	北 20.4	2022年2月23日	1	北北東 20	2008年2月9日
鏡原	日最大風速・風向（m/s）	北北東 15.6	2022年2月23日	1	南東 13.2	2021年2月11日
所野	日最大風速・風向（m/s）	北 20.3	2022年2月23日	1	北北東 19.4	2021年2月11日
旧東	日最大瞬間風速・風向（m/s）	西 31.4	2022年2月14日	1	南西 21.6	2010年2月15日
下地島	日最大瞬間風速・風向（m/s）	北 26.2	2022年2月23日	1	北 23.7	2016年2月6日
鏡原	日最大瞬間風速・風向（m/s）	北 24.7	2022年2月23日	1	南東 19.0*	2021年2月11日
仲筋	日最大瞬間風速・風向（m/s）	北 21.6	2022年2月23日	1	北 20.1	2016年2月15日
所野	日最大瞬間風速・風向（m/s）	北北東 24.7	2022年2月23日	1	北北東 23.7	2021年2月11日
大原	日最大瞬間風速・風向（m/s）	北 22.5	2022年2月23日	1	北北東 20.6	2013年2月8日
下地島	月降水量の多い方から（mm）	214.5	2022年2月	1	189	2006年2月
鏡原	月降水量の多い方から（mm）	215.5	2022年2月	1	201	2005年2月

注1：日及び月の統計値の1位更新を記載していますが、統計期間10年未満の地点及び要素は除いています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

生物季節観測表

2022年2月

観測場所	種別（代替種目）	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現 平年差	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日			
植物								
那覇	さくら（ひかんざくら）	満開	2月1日	2月4日	2月1日	-3	1月23日	2月19日
宮古島	さくら（ひかんざくら）	満開	2月8日	2月9日	2月10日	-1	1月23日	3月2日
南大東島	さくら（ひかんざくら）	満開	2月10日	2月5日	なし	+5	1月21日	3月1日
石垣島	さくら（ひかんざくら）	満開	2月22日	2月10日	2月8日	+12	1月8日	3月2日

注：平年差の“-”は発現が平年に比べて早く、“+”は発現が平年に比べて遅いことを示します。

冬の天候

2021年12月～2022年2月

天候経過

沖縄地方は、12月中旬にかけては高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、12月下旬以降は前線や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。

平均気温は那覇と名護、南大東島を除く全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回ったが、地域平均平年差は+0.1℃で平年並だった。降水量は12月は少なかったが、2月はかなり多く、南大東島を除く全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り、地域平均平年比は121%で多かった。日照時間は12月は多かったが、2月はかなり少なく、全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を下回り、地域平均平年比は86%で少なかった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

【2021年12月～2022年2月】

	気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	17.9	0.0	0	358.5	112	0	286.8	97	0
名護	17.1	-0.1	0	396.5	128	+	272.8	92	-
久米島	17.9	+0.1	0	450.5	110	+	204.4	82	-
南大東島	18.2	-0.4	-	262.0	96	0	355.8	98	0
宮古島	19.2	+0.2	+	411.5	104	0	246.7	91	-
石垣島	19.8	+0.2	0	459.0	112	+	241.8	90	-
西表島	19.6	+0.4	+	577.5	120	+	180.8	80	-
与那国島	19.4	+0.2	+	882.0	161	++	117.9	68	-
沖縄地方		+0.1	0		121	+		86	-

(注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++: かなり高い(多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、

-: 低い(少ない)、--: かなり低い(少ない)

2. 「降水量」欄の — は無降水を示す。

3. 沖縄地方の平年差(比)とは、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の7地点の平年差(比)の平均値を示す。

4. “)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

5. “)”付きの値は資料不足値(統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている)を意味し、階級についても値と同様の品質である。

6. “X”は欠測を意味する。

7. 表中のデータは気象官署(气象台、特別地域気象観測所)における値である。

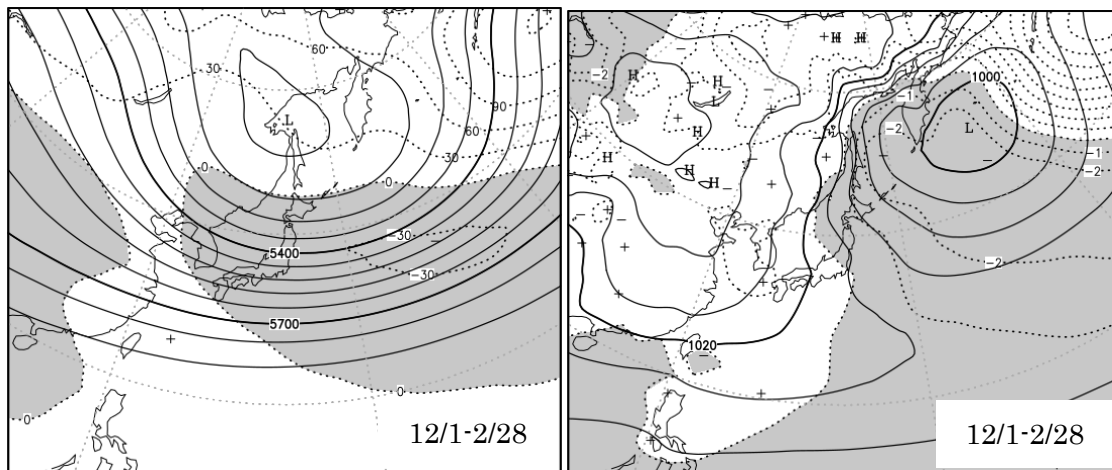
8. 平年値の統計期間は1991～2020年である。

冬の大気の流れ

2021年12月～2022年2月

500hPa面の平均高度（左図）は、華中から華南で平年より低く、東シナ海では相対的に高かった。このため、偏西風は大陸東岸で北へ蛇行し、沖縄付近への寒気の南下は弱く、南からの湿った空気の影響を受けやすかった。

平均海面気圧（右図）は、沖縄付近はシベリア高気圧の張り出しの縁に位置し、気圧の谷の影響を受けやすかった。



左図 日本付近の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

右図 日本付近の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

沖縄地方の冬（12月～2月）の平均気温と降水量の経年変化

沖縄地方の2021/22年冬（2021年12月～2022年2月）の平均気温の地域平均平年差は+0.16℃であった。1897年の統計開始以降の長期変化傾向（赤色の実線）は、100年間に1.11℃の割合で上昇している（図1）。

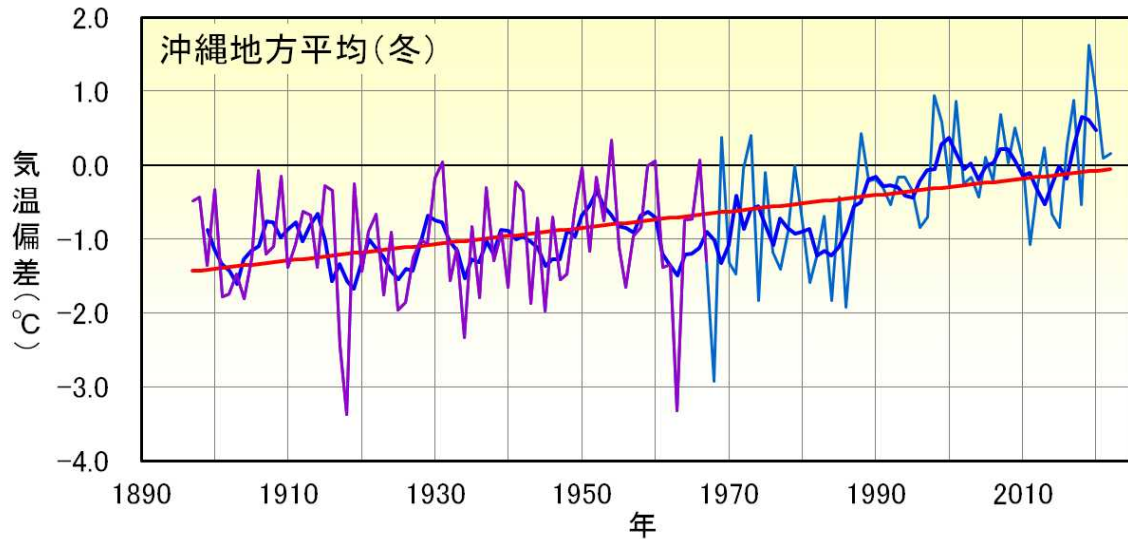


図1 沖縄地方の冬（12月～2月）の平均気温の地域平均平年差の経年変化

[1897～2022年の126年間]

横軸は西暦 [年]、縦軸は沖縄地方の平均気温の地域平均平年差 [°C] を示す。

水色の折れ線グラフは7地点のデータが揃っている期間、紫色の折れ線グラフは7地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値、赤色の実線は各年の統計値の長期変化傾向。

那覇の1927年4月以前、名護の1987年6月以前、西表島の2003年2月以前のデータは、移転の影響を補正して使用している。

那覇の1945、1946、1951年、南大東島の1946年の観測値は欠測。

沖縄地方の 2021/22 年冬（2021 年 12 月～2022 年 2 月）の降水量の地域平均平年差は +94.2mm であった。平均気温とは異なり、明確な長期変化傾向は見られない（図 2）。

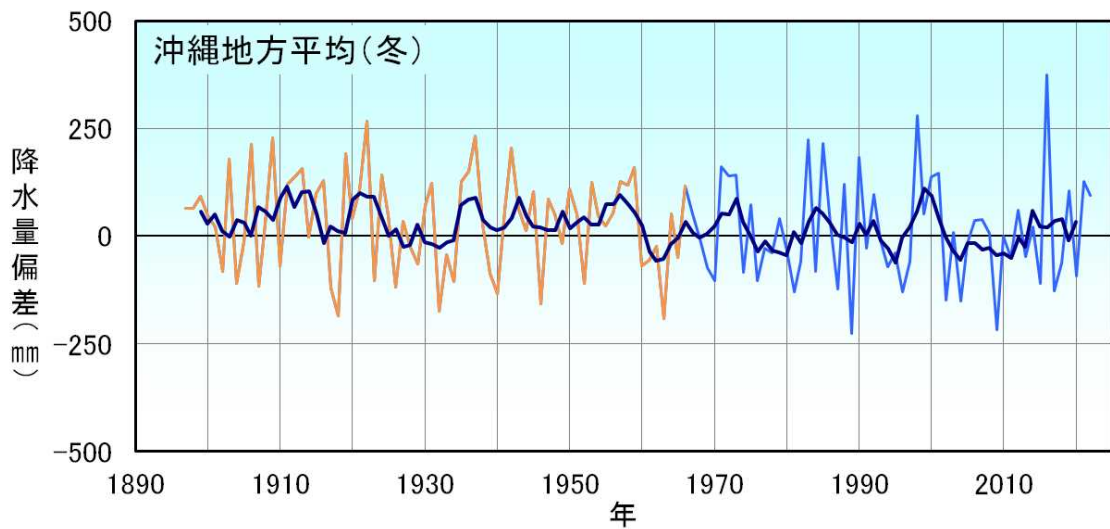


図 2 沖縄地方の冬（12 月～2 月）の降水量の地域平均平年差の経年変化
[1897 年～2022 年の 126 年間]

横軸は西暦 [年]、縦軸は沖縄地方の降水量の地域平均平年差 [mm] を示す。
水色の折れ線グラフは 7 地点のデータが揃っている期間、橙色の折れ線グラフは 7 地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の 5 年移動平均値。
那覇の 1945、1946、1951 年、南大東島の 1946 年の観測値は欠測。

【注】

- この資料においては、沖縄地方の平均気温と降水量の地域平均平年差は、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の 7 地点の各平年値との差から算出している。また、上記 7 地点のうち 2 地点以上で観測値が存在する期間について算出しているため、統計開始は 1897 年からとなる。
- 平年値の統計期間は 1991～2020 年の 30 年間である。
- 沖縄地方の平均気温の地域平均平年差は、長期的なトレンドの評価のため、小数第 2 位まで求めている。